



欧州委員会
研究・イノベーション総局
G局：エネルギー
第4ユニット：核分裂（EURATOM）

Georges VAN GOETHEM（博士、工学修士）

履歴書（2014年9月現在）

- 生年月日、出生地 - 大学教育 - 博士号 - 肩書	- 1950年9月7日、Leuven（ベルギー） - 1974年機械工学修士（Louvain カトリック大学（UCL）、ベルギー） - 1979年応用科学博士（UCL、流体－構造物相互作用の有限要素モデリング） - 核分裂分野の技術革新及び教育・研修責任者	
--	--	---

Georges van Goethem（博士、工学修士）は機械工学修士号（UCL、1974年）及び応用科学博士号（UCL、1979年）を有する。

Belgonucleaire 社に数年勤務後、欧州委員会入りしてキャリアを積む。欧州委員会「共同研究センター」総局（DG JRC）のもと、高速中性子炉の安全問題担当科学者として Ispra（イタリア）及び Karlsruhe（ドイツ）に勤務（1977年～1992年）。

その後、Brussels の欧州委員会研究総局で Euratom の各種プログラムの責任者として、核分裂研究（枠組みプログラム（FP）/FP-4、-5、-6 及び-7）に、とりわけ現在は第 IV 世代システム及び燃料サイクル（ホライゾン 2020）に取り組む。また、原子力教育及び研修に関する Euratom の活動の責任者を務めており、幾つかの学術団体の会員となっている他、核分裂分野の技術革新に関する各種ワークショップにも参加している。

数々の科学論文、研究論文の著者又は共著者であり、国際会議での講演も多い。

ベルギーの王立海外科学アカデミー（RAOS）の会員である。